

都市計画道路の方針策定の情報開示を！

現在、東京都では第四次都市計画道路の整備方針（仮称）を策定中です。すでに市や区が参加しての策定検討会議や専門アドバイザー会議が開催されていますが、会議の開催日などの詳細なスケジュールも含め非公開で、市が策定会議でどのような意見を出しているのかさえ、市民にはわからない現状です。

小平市では3年後に都市計画マスタープランの改定を控えており、情報公開は必須です。東京都への情報公開請求など制度を使っての開示を求めつつ、市に対しても検討のプロセスでの開示を要望しています。



住宅地の中にある3・3・3号線の予定地と立札(上)
途中までできている3・3・3号線 花小金井南町1丁目(下)



常任委員会 視察 報告

小平市議会の各常任委員会
5月に行つた視察先から一部を報告します。

生活文教委員会

岐阜県可児市 IT活用による不登校の子どもたちへの支援

可児市では不登校の子どもたちの学業復帰や社会適応を支援するため、いち早くIT学習のシステムを導入。インターネットを使っての学習指導なども出席扱いにするなど柔軟な対応をしています。電話でも話せない、家庭訪問をしても会えない子どもたちとは、メールでのやりとりを通して信頼関係をつくり、その後の相談や学習支援につなげ効果を上げています。多様な学びを保障するためにも教育現場でのIT活用の可能性の大きさを感じました。

(岩本ひろ子)



適応指導教室「スマイリングルーム」の入口にあるパネル。学校に行かなくてもここでITを活用している。ここならこられる子どもがいる

厚生委員会

札幌市 子どもアシストセンター

「子どもの最善の利益を実現するための権利条約」に基づく権利救済機関で、電話やメールによる相談を受け個別事項の調査も行います。いじめなどの悩みに対して、学校から独立した機関として救済委員や相談員を配置し子どもに寄り添いながら解決を図ります。

キャラクターを用いたカードを作って全校で配布するなど、子ども目線の周知を行い、年間のべ4千件の相談があるとのこと。子どもの権利の視点に立った施策の必要性をあらためて感じました。

(日向みさ子)



子どもアシストセンター入り口で

総務委員会

北海道恵庭市 行政改革について

第5次恵庭市行政改革推進計画は「市民と行政の協働による新しい自治



の姿の「実現」を理念に掲げ、施策形成過程の改革を目指す

市独自のもの。「意思決定システムの構築」と「評価システムの構築」の2本柱が掲げられ、行革推進委員会是一般公募市民が入って調査、審議しています。市長に意見具申できる体制がつけられ、市民参加が確保されているのは画期的だと思いました。

(平野ひろみ)

皆さまからの
ご意見お待ちしております。



お問い合わせ先

住所／小平市小川町 2-1333 (小平市役所 7 階)
電話／042-346-9566
<議会事務局 内線3012>
電話・FAX／042-342-4494 (事務所)
メール／kodaira@seikatsusha.net